

令和 7 年度 第 1 回恵那市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日時：令和 7 年 7 月 28 日（月） 午後 1 時 30 分～

場所：恵那市役所会議棟大会議室

1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 水道環境部長挨拶
4. 委員自己紹介・事務局紹介
5. 廃棄物減量等推進審議会について（資料 1・資料 2）
6. 会長・副会長選出・挨拶
7. 議題
 1. 恵那市一般廃棄物処理基本計画について（資料 3・資料 4）
 2. 恵那市一般廃棄物処理実施計画について（資料 5）
 3. 廃棄物減量化に向けた具体的な取り組みについて（資料 6）
 4. 中津川・恵那広域ごみ処理施設整備に向けて（資料 7）
 5. し尿処理手数料の改定等について（資料 8）
8. その他
今後の開催予定 3～4 回（次回 9 月頃）
9. 閉会

10. 出席者 13 名中 11 名（以下のとおり）

No.	氏 名	所 属	備考	第1回出欠
1	柴原 尚希	中部大学	会長	出席
2	安藤 常雄	地域自治区会長会議	副会長	出席
3	渡邊 勝則	地域自治区会長会議		出席
4	各務 ひとみ	なかのほうコンポストCommunity		出席
5	加藤 信之	恵那市社会福祉協議会		欠席
6	山田 哲也	生活協同組合 コープぎふ		出席
7	梅村 克利	(株)パローホールディングス		欠席
8	大山 健史	王子マテリア(株)		出席
9	高井 盛人	東栄製紙工業(株)		出席
10	近江 則明	ケイナンクリーン(株)		欠席
11	別府 裕二	(株)恵那清掃工業		出席
12	赤塚 康司	中部地方環境事務所		出席
13	伊藤 明	恵那県事務所環境課		出席

（順不同）

11. 傍聴者の数 0 人

1. 開会

■事務局（進行） ……資料を配布した。不足があれば知らせてほしい。

定刻なので開会する。会議時間は1時間30分程度を想定し、午後3時を終了予定とする。

本日の審議会は委員13名のうち現時点で9名、もう1人来るので10名が出席予定で、半数以上の出席なので会議が成立している。会議は原則公開とし、会議録を公表する。

2. 委嘱書の交付

■事務局（進行） 委嘱書を交付する。本来は市長から一人一人に渡すところだが、本日は他の公務で出席できない。時間の都合上、委嘱書を机上に配布したので確認してほしい。任期は本日から令和9年3月31日までとする。

3. 水道環境部長挨拶

■水道環境部長 今年も暑い日が続く。熱中症による救急搬送も全国的に増えているので体に気を付けてほしい。

本日はお忙しい中ありがとうございます。今年度役員改正、人事異動等により5名が変更になった。2年間よろしくお願いします。

この審議会では、一般廃棄物の減量、再利用促進に関する事項を審議いただく。遠慮なく活発な意見を頂きたい。

市では減量化に取り組んでいる。市民や事業者の理解、協力が必要である。開示方法や取組にも課題があるので、その点にも意見を頂きたい。

情報提供する。ごみ処理の広域化。中津川市と令和3年に基本合意書を交わし、令和15年の開業に向けて進めている。今年度は建設候補地選定とごみ分別区分について主に進める。候補地は7月31日まで公募しているが、現時点では応募がない。今後どう進めるのか両市で再度検討が必要。

ごみ分別区分は、本日議題の、プラスチック等の兼ね合いがあり、粗大ごみの分別や分別区分の違いなど両市間でさまざまな調整が必要となる。両市で分別について今後検討するが、審議会の皆様から御意見を頂きたい。今年度は審議会の回数が増える。

先日エコセンター恵那の機器が故障し、6月23日からごみ処理が停止した。非常事態宣言を7月2日に発出し、7月16日までごみの削減に協力いただくよう市民と事業者をお願いした。この間、ごみ量が減る状況もあった。受け入れたごみは東濃4市に持ち出して処理した。このような取組は初めてだったが、審議会委員である恵那清掃工業様とケイナングリーン様に外部の搬出に協力いただき大変助かった。誠にありがとうございました。

皆様方が大変協力的であったことから、停止期間を乗り切ることができた。感謝してい

る。施設も7月15日に修繕が完了し、16日から通常稼働となった。施設が老朽化しており今後は心配だが、今後このようなことが起きないように施設管理に力を入れていきたい。

4. 委員自己紹介・事務局紹介

〔委員自己紹介〕

〔事務局自己紹介〕

5. 廃棄物減量等推進審議会について（資料1・資料2）

■進行（事務局） 審議会について事務局から説明する。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■進行（事務局） 質問はあるか。

〔発言なし〕

6. 会長・副会長選出・挨拶

■進行（事務局） 条例により、会長、副会長は委員の互選により定めることになっている。選出方法について意見はあるか。

■委員 事務局一任で良い。

■進行（事務局） 提案する。会長に中部大学の柴原委員、副会長に安藤委員にお願いしたい。承認いただける方は拍手をお願いします。

〔拍手多数〕

■進行（事務局） ありがとうございます。会長に柴原委員、副会長に安藤委員が選出された。席を移動してください。

挨拶を頂く。

■会長 引き続き仰せつかった。よろしくお願いします。

私は工学部の都市建設工学会に所属している。まちづくりを学生に教えている。廃棄物問題はまちづくりで大事な要素だ。学生にもしっかりと勉強させている。廃棄物の減量の審議会だが、最近は循環、回る仕組みを作ることも重要だ。現地の皆さんの忌憚ない御意見で良い取組が進むことを期待する。2年間よろしくお願いします。

■副会長 重責だが受ける。会長をサポートし、皆様方に御協力いただき務めていきたい。

よろしくお願いします。

7. 議題

1. 恵那市一般廃棄物処理基本計画について（資料3・資料4）

2. 恵那市一般廃棄物処理実施計画について（資料5）

■進行（事務局） 議題に移る。恵那市廃棄物処理及び清掃に関する条例により、会長が議長となる。議事進行を会長にお願いする。

■議長（会長） 議題1及び2について事務局から説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■議長（会長） 質問等はあるか。

〔発言なし〕

3. 廃棄物減量化に向けた具体的な取り組みについて（資料6）

〔事務局から資料に基づき説明〕

■議長（会長） 意見、質問を順に頂く。

■委員 弊社は紙を扱い、古紙の収集、再利用をしている。その中で気になることは、古紙のリサイクルで、「古紙リサイクル商品開発支援の要望」とは具体的にどういうものか。経済団体からということだったが。何か具体的にあれば弊社も協力したい。

■事務局 令和5年度に恵那商工会議所から要望が来ている。市内の資源回収拠点で多く古紙回収、雑がみの取組に協力いただき、回収量は増えている。しかし、せっかく恵那市に多くの製紙会社があり古紙がリサイクルされているが、それを手に取れる商品としたものがない。封筒などは順にできているが、オール恵那市産のような、紙を折る業者が市内になくて加工業者もないなど、いろいろな条件があるので、そういう商品開発のニーズ調査、どんな商品が売れるのかを、環境省の支援を仰ぎながら考えていきたい。具体的な商品イメージはまだない。今年度、専門家の助言を頂き国の支援を賜りながらビジョン策定をする。実際の動きは次年度以降になると思う。古紙関係の事業者などに協力を賜りながら進めたい。

■委員 私どもも古紙を扱っている。封筒にはうちが関わりこの7月から使用されている。うちはクローズドリサイクルということで、新しいもの、包装紙を含め、こういうものに事業として取り組んでいる。各企業、自治体にアプローチをかけているがなかなか思うよ

うに進んでいない。

古紙は、議題3の地域回収拠点を手伝っている。ここ数年小中学校の資源回収をやめるところが出てきている。恵那市の小中学校はPTAの資源回収の在り方はどのような考えか。市に情報は来ているか。

どちらにしても、地産地消で、地元で出た古紙は地元で回収して地元で使用するのが一番いいと思う。地域の拠点回収には私どもも力を入れたい。

■委員 感想になるが、ごみ処理施設の故障に伴う非常事態宣言に関して弊社も協力した。ごみ収集が滞ることがなく、事業系ごみをメインにやっているの、市内の事業所の収集をストップすることなく進められたのが大変有り難かった。後から知ったが、東濃5市で協力する協定も事前に結ばれていたということ。有り難かった。

■委員 環境省の予算を使っていただきありがとうございます。今までの計画で3Rという方向があったが、もう少しギアを上げないといけないということがあり、今回こういう形で提案した。

診断のところは、我々のところに日本全国いろいろやっているところがあるので、専門の方を支援している。そのころには多分使っていただくような動脈産業の皆さんとのヒアリングや、市民にどう回収していくのかということも含めて、専門家の派遣により、サーキュラーエコノミーが進んでいけばと思っている。この後実証に進むなら、次の段階の補助もあるので、我々を使っていただければいいと思う。

■委員 質問。資料6の18ページ。浜屋さんに買い取りしてもらおうということ。携帯やスマホなど。これは恵那市が収集したものを売却しているのか。

■事務局 収集もだし、施設へ持ち込まれたものの中から、職員が目で見えて使えるものを整理して、程度に応じて業者が使えるものを買い取る。

■委員 あと、一般廃棄物の収集の中で、今バッテリーが火災の原因になっている。気を付けて収集するとか分別の周知をお願いしたい。

■委員 コープぎふで関わっているフードドライブの現状はNPO法人と社協と連携して月に1回コープの回収ができています。市民への周知も比較的できています。常設ポストは店に設置しています。私のいる宅配支所では月1回NPOが来て受け渡しを毎月している。ただ、冷蔵品、冷凍品がここでは難しいのが課題で、現状では廃棄するしかない。

あと、うちの宅配では、高齢化で、認知症の人が増えていて、頼み過ぎていることがある。1人で1回2、3万円ぐらい頼んで、結局食べきれず冷蔵庫で腐っていったりしている。家族が気付くと連絡いただくが、課題になっている。私どもで注文を見るが限界がある。

■委員 フードドライブについて、回収拠点が2か所増えていることは知らなかった。もっと周知すると良い。ほかにも場所が増えたらもっと持っていくと思う。

■委員 フードドライブについて、設置店舗、令和7年度に他店舗へ展開ということ。市内にたくさんスーパーはある。ゲンキーやカネスエなど。この辺についても増やすように設置をお願いしたらどうか。

私もときどき学校運営協議会に出る。PTAが年に1, 2回小中学校で廃品回収をやっている。だが、今はみんなごみステーションやコミセンの前のボックスに出すようになっており、将来的には小中学校も減るだろうし、再来年以降には中学校は恵南で1つになるので、廃品回収も底をつくと思う。教育委員会と環境部と連名で小学校の廃品回収分は各地区のごみステーションに出してくださいという文書を出したらどうか。

生ごみの減量化。私も知らなかったが、ごみの電動式の処理機や設置式のコンポストについて、購入値段と、補助金の上限2万円、5千円、2千円の、具体的な金額を教えてほしい。この中身はもっと積極的にピーアールすべき。これで必要に応じて電動式の分は半額ぐらい市が補助すればごみは減ると思うが、どうか。

■事務局 エコセンターの故障の件もあるので、周知はもっとしっかりしないといけないと思っている。生ごみ処理機はいろいろあり、金額がいくらとは言えない。10万円の物ももっと安い物もある。買いたい物がその対象になるかという聞き方をしてくれると話しやすい。ピーアールもしていく。上限3分の1としか言えない。

■委員 予算を140万円積み立ててあるのだから、電動式がいくつで設置式がいくつぐらいということで積算したんだろうと思う。その辺を明確にしないと。電動式で種類があるなら、全部の金額を出すとか、もっと市民に分かるように、これについてこれだけ補助しますと明確に出した方が動きやすい。

大井長島以外なら、設置式のコンポの方が出回る。畑や田んぼに置いている人がほとんど。2つ3つ置いている人もいる。段ボール型のコンポストなんかしょっちゅう出ている。こういうものについて補助するということを大々的にピーアールして予算をしっかり積み上げた方がいい。予算がないからできませんという恥ずかしいことのないようにだけはしてほしい。

■事務局 しっかりやる。皆さんに示せるようにする。

■副会長 初めてのことがいろいろあり勉強させてもらった。東栄製紙さんから話があった、学校の収集は、恵南の中学校の統合もあり、ほとんどが拠点施設になっていると思うが、明智町内だけは国本さんが許可業者になっており特殊なので、まだ統一するところには行っていないが、多分中学校での収集はなくなると思う。小学校はほとんどが拠点になっている。5か町村の拠点で入ったお金は、助成金も絡めて、各学校へ拠出しているので、学校の方は変わりなく進んでいると思う。

■議長（会長） 委員でも知らないことがいろいろあった。周知が必要。数字を見ても、例えばフードドライブを新しい店で始めたすぐは数字が上がっておらず、数カ月経ってか

ら実績が出てくる。それも、知れ渡ってからじゃないと取組に協力しづらいということが現れている。その辺が重要だ。環境省の事業でも効果的な広報戦略、地域課題の分析などで人材を育成しようとしているところに繋がると思う。

ほかに追加で意見はあるか。

なければ次に移る。

4. 中津川・恵那広域ごみ処理施設整備に向けて（資料7）

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■議長（会長） 質問等はあるか。

■委員 候補地で手を挙げた方はあるか。

■事務局 残念なならない。いくつか個人的に「うちの土地を」という話はあったが、適地ではなかった。候補地はゼロ。

■議長（会長） 公募要領と、公募があった場合の選定基準をせっかく決めたので、公募がたくさんあると良い。公募がなかった場合はどうするのか。

■事務局 両市で検討する。

■事務局 この審議会でごみの分別についてどうしていくか意見を頂きながら決めていきたい。この件があるので審議会の回数が増える。

■議長（会長） 今日は分別区分を決めるというのは、しないということか。

■事務局 そうだ。

■議長（会長） ちなみに、非常事態宣言があったときは、可燃ごみだったから近隣4市に持っていっても問題なかったということか。

■事務局 そうだ。

■議長（会長） そういう協定を締結しているという話だが、どのごみだったらどうやるかのすり合わせはしていないのか。

■事務局 他市には協力していただくに当たり、事業系一廃、家庭から出る生活系の一廃等、細かい分類ではそういうのがあるが、特に種類分けの話はなく、エコセンターに搬入されるごみを協力できる範囲で受け入れていただけますかという話の中で処理をお願いした。

■議長（会長） あとは、中津川市・恵那市は一つの処理場になることで、分別方法をそろえていかないといけないので、次回までに考えておいていただければと思う。

ほかに質問等はあるか。

〔 発言なし 〕

5. し尿処理手数料の改定等について（資料8）

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■議長（会長） 質問等はあるか。

〔 発言なし 〕

■議長（会長） 全ての自治体が上げるわけじゃないですね。検討中の自治体と、20%とかちゃんと算定するとかいろいろあるが、そういうもので大丈夫なのか。

■委員 一般廃棄物は専門ではないが、団体から我々の方に要望が上がっている。

料金を上げないと、やっていけない状況は業者としても辛い。かといって市民も大変。その調整をしないといけない。

■議長（会長） 両方に配慮して2割ということだ。

全ての議事が終了した。全体を通して何かあるか。

〔 発言なし 〕

■議長（会長） 事務局に進行を戻す。

8. その他

今後の開催予定 3～4回（次回 9月頃）

■進行（事務局） 今後の開催予定。令和7年度は3、4回開催する。次回は9月か10月になる。会長、副会長と相談して日程を決める。

9. 閉会

■副会長 本日はありがとうございました。委員の皆様の尽力により市民が安心して暮らせる環境づくりを目指したい。引き続きよろしくお願いします。これで閉会する。

〔 閉 会 〕